

4. 今後目指していく方向

(1) 農業

農業産出額 730 億円(平成 28 年から 100 億円増)を目指す。

- ①収益力の高い魅力ある農業の確立
- ②地域の強み等を活かした特色ある生産の振興
- ③将来にわたって島根農業を支える中核的な担い手の確保

(2) 林業

現在の目標(原木生産量 80 万 m^3)の達成時期を 10 年前倒しし、2023 年に 70 万 m^3 、2030 年に 80 万 m^3 を目指す。

- ①原木生産と再造林のコスト低減による林業経営の収益力の向上
- ②県内の製材力の強化による県産材の出荷拡大
- ③林業事業者の体質強化による就業者の確保

(3) 水産業

10 年後に、企業的漁業経営体の産出額 200 億円(20 億円増)、沿岸自営漁業の産出額 26 億円の維持を目指す。

- ①高性能漁船の導入や衛生管理等のレベルアップによる魚価向上
- ②新規就業者の確保・育成、海藻など沿岸の資源を活用した新たなビジネスモデルの創出など、沿岸漁業や漁村の活性化

(4) 農山漁村

(目標について現在検討中)

農山漁村の有する多面的機能に十分配慮して、農林水産業を核とした地域の生活が将来にわたって維持できるような取組を推進し、活力ある農山漁村の実現を目指す。